

愛媛大学教職大学院5年一貫養成システム（1年履修プログラム）の概要

【1年履修プログラムの主旨】

4回生後期から教職大学院の履修を開始し、M1期に1年履修プログラムにおいて履修の大半を終え、M2期には初任者教員として勤務しながら残りの単位を履修する。養成の拠点を、学部・実習校・勤務校へと漸進的に移動させ、また、初任者教員として教職大学院の支援を継続的に受けることで、臨床経験の質が飛躍的に向上する。休職・離職率の激減、学生の経済的負担の激減が期待できる。

【1年履修プログラムの対象者】

以下の2つの要件を満たす者。学部時代に、科目等履修生として教職大学院共通基礎科目を4単位以上履修した者。学部時代に、愛媛県公立学校教員採用選考試験に合格した者。なお、対象校種は、小学校・中学校・高校・特別支援学校とする。

